

里山で見られる植物たち

冬編

クロガネモチ



科名：モチノキ科 / 花期：5～6月

白やうす紫色をした花は小さく目立たないが、晩秋に赤く熟す実は春まで残り、よく目につく。「クロガネモチ」という名が「金持ち」に通じると縁起がよい木とされることもある。

サザンカ



科名：ツバキ科 / 花期：10～12月

多くの園芸品種があり公園に植えられているものはツバキと交配したものが多い。開花はツバキよりも早く、花弁が1枚ごとに散るのがツバキとの見分けのポイントになる。

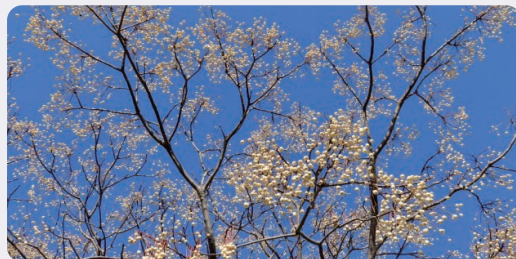
サルトリイバラ



科名：サルトリイバラ科 / 花期：4～7月

淡い黄緑色の小さな花を咲かせる。つる性の茎にとげがあり、この茂みに入ってしまうと「猿でも引っ掛かり思うように動けない」という意味で、「猿捕茨」と名付けられた。

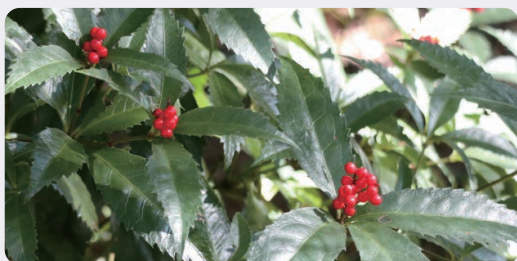
センダン



科名：センダン科 / 花期：5～6月

クリーム色に熟した実は落葉後も枝に残り、目立つ。温暖な地域の海岸近くや森林ぎわに多く自生。公園や街路樹にも植えられる。花はうす紫色で多く咲き、香りが良い。

センリョウ



科名：センリョウ科 / 花期：6～7月

赤く美しい果実をつけ正月飾りにも使われる。もとは仙寥（センリョウ）と書かれていたが、江戸時代後期にマンリョウと対の縁起物とし、「千両」の字をあてるようになった。

ツルウメ



科名：ニシキギ科 / 花期：5～6月

寒さ暑さに強く、北海道から沖縄まで自生する。黄色の果実は熟すと裂け、オレンジ色の種子が現れ目立つ。葉が枯れても色鮮やかなままなので、リースなどの花材とされる。

ニシギギ



科名：ニシギギ科 / 花期：5～6月

紅葉が見事で世界三大紅葉樹に数えられ、庭木としてもよく植えられる。若い枝にはコルク質で板状の翼(よく)が発達する。花は淡黄緑色で小さく、あまり目立たない。

ハマヒサカキ



科名：サカキ科 / 花期：11～12月

海岸近くに多く自生するが潮風や乾燥に強いので街路樹としても植えられる。花の香りが独特で近くに咲いているとすぐにわかる。黒色の実が鳥が好んでよく集まる。

フユイチゴ



科名：バラ科 / 花期：9～10月

初秋に白い花を咲かせ、果実は11月～1月頃に赤くなり食べることができる。キイチゴ類は夏に熟すものが多いが、これは冬に熟すのでフユイチゴと名付けられた。

フノハナワラビ



科名：ハナヤスリ科

日当たりの良い山地や林縁、草地などに生える。晩秋から冬にかけて、直立した胞子葉を伸ばし、その胞子葉のようすが花穂を連想させるので、ハナワラビと呼ばれる。

マンリョウ



科名：サクラソウ科 / 花期：7～8月

冬に熟す赤い果実が美しく、また「万両」という景気の良い名が喜ばれて、庭木や鉢植え、花材に利用される。センリョウ(千両)などととも正月の縁起物とされる。

ヤブツバキ



科名：ツバキ科 / 花期：2～4月

照葉樹林の代表的な樹木。高いものは15メートルにもなるが、成長は遅く寿命は長い。花はやや筒状に開き蜜が多く、吸いにくるヒヨドリやメジロによって花粉が運ばれる。

